

# 高田 本山 だより

NHK「趣味の園芸」で本山の蓮がとりあげられました。また、三重テレビ「ついでと、ツイート」では歴史まるごと体験塾が特集され、名古屋テレビ系「旅してゴメン」でも本山が話題にのぼりました。みなさまに「寛」になりましたか？



119

十月二十五日〜二十七日  
**第五世定專上人六百五十年忌法会**  
**第十三世堯真上人四百年忌法会**

専修寺第五世 定專上人行実



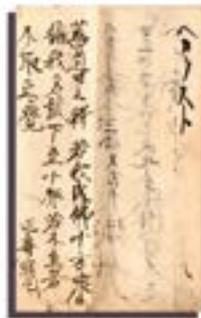
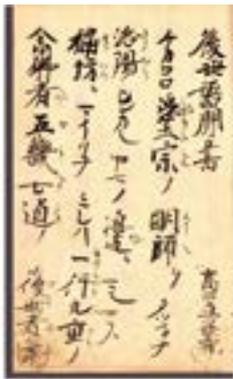
定專上人は、康永二年（一三三三）に第四世専空上人が示寂されたのち、十四歳にて住持職とされます。専修寺宝物館には定專上人二十歳のときの自筆書写本『後世語聞書』が伝えられていて（図版参照）、その奥書には「貞和五年（一三四九）ひのとのうし（丁丑）七月二十二日、南無阿弥陀佛、弥陀如来、釋定專二十歳」と、料紙から溢れんばかりの大振りの筆跡が残されている。この聖教は親鸞聖人が御消息の中で関東の門弟たちに繰り返し読むことを

勧められた一冊であり、当時、本の題名に「聞書」「見聞」「抄出」などの言葉が付記されていることは、その本が先師からの相承本であることを示しています。

専修寺文書（重要文化財）には、文和四年（一三五五）正月二十八日に「下野国高田如来堂 茅葺替料足募財文書」があり、このころの御堂には親鸞聖人自筆の賛名が記された「紺地十字名号」（絹本着色、縦180cm）が本尊として御安置されていて、本寺御堂の最初の修理記録と考えられています。また、先代の専空上人の暦応元年（一三三八）に、京都の大谷廟堂の兵火による焼失の際、専空上人によって買得移築された廟堂に安置の親鸞聖人影像を脇壇移設しようとする動きを阻止するという文書も残されていて、これは、大谷廟堂の寺院化の動きを示す初期文書としても知られています。

定專上人は、四十歳という不惑の年に示寂されますが、この後、関東の門弟たちと大谷廟堂との軋轢は新しい転回点を迎えます。

（新 光晴）



### 第十三世堯真上人のご生涯



堯真上人は、天文十八年（一五四九）に専修寺第十二世堯慧上人の御長男としてお生まれになりました。

天正八年（一五八〇）五月には権僧正に任じられ、正親町天皇から住持職の綸旨を与えられています。この綸旨には「堯応僧正御房」とありますので、この頃までは「堯応」と名乗られていたことが分かります。真慧上人によって建てられた御堂が前月の四月五日に焼失していますので、ひよっとすると堯慧上人はその責任を取って退き、嫡男の堯真上人に第十三世を託されたのかもしれない。

焼失から二年後には御堂の再建が始まり、天正十六年（一五八八）には、祖師堂十八間、如来堂十六間の両御堂が完成しました。

同年九月十一日から二十日までの十日間、御堂の落慶法会として千部会が営まれました。六十二歳の堯慧上人と

四十歳の堯真上人の両上人がお揃いで御昇堂され、結願の日には天から妙華が降ったと伝えられるほど盛大な法会でした。

この頃、豊臣秀吉や徳川家康は本山に禁制を出し、保護しています。特に秀吉は、文禄五年（一五九六）七月に一身田村の内に三百五十石の寺領を寄進しています。それは堯真上人の娘、鶴子様が秀吉に仕えていたことも関係していたのでしよう。

堯真上人のご内室は、犬山城主織田信清の娘で、母は信長の姉でした。お二人の間には堯秀上人等五男三女があり、鶴子様はその御長女でした。しかし、秀吉が寄進した翌月の閏七月、鶴子様は慶長伏見地震に遭い、伏見城内でお亡くなりになりました。法名を妙孝院榮真大姉と名づけられ、その法名を寺号とした榮真寺が秀吉によって伏見に建立されました。堯真上人はこの時たまたま伏見城に居られ、鶴子様の死を目前にされたとも伝えられています。上人の御書に「それ人間は老少不定にして、無常転変の界なれば、いづれかこれをのがるべし。たとい長命たりというとも、たれか百年の形体をたもたんや。ああ榮はまた苦しみとなり、喜びはまた歎きのはじめなり」とあるのは、その時のご心境を述べられたものといえるでしょう。

このように堯真上人は、戦国時代という動乱の時代を戦国大名たちと共に生き抜かれ、江戸時代の初め元和五年（一六一九）に七十一歳で往生の素懐を遂げられました。

（清水谷 正尊）



こんな行事がありました



婦人連合大会

六月二日

第55回高田派婦人連合大会

講師に黒川文字先生をお迎えして九百四十八名の参加者と共に賑やかに行われました。当日お祝いされる女性祖師寿表彰には四百十名の申し込みのうち三十二名が出席されお祝いを受けられました。

六月十二日〜十三日

坊守研修会

お寺の坊守さんも研修に参加して研鑽をつんでいます。今回は親鸞聖人



居多が浜 (坊守研修会)

越後流罪の地をたずねてまわりました。

六月二十二日〜二十三日

高田派青年の集い大阪大会

次代のお寺をになう青年対象の研修会も開催されています。聖徳太子ゆかりの四天王寺を中心に研鑽をつみました。



四天王寺 (青年大会)

六月三十日 県民茶会

両御堂が国宝になったご縁でしょうか、三重県民茶会が催されました。



県民茶会

七月五日

高田派仏教保育講座

高田派にゆかりのある幼稚園、保育園の先生方を対象にした勉強会も本山で開催されました。



仏教保育講座



寺内町七夕まつり

七月六日 七夕まつり

寺内町七夕まつりでは門前が大変賑わっていました。

仏足石御遷座・発掘調査

宝物館の改築実施にもなつて一体の発掘調査が行われます。

これに先立ち、宝物館前に安置されていた仏足石の御遷座が行われ、新たに安置された太子堂前にて七月二十五日に御遷座の法会がありました。



仏足石御遷座



宝物館発掘現場

七月二十日

蓮の会イベント

講師に金谷俊一郎氏をお迎えして講演会が開催されました。

特に蓮の会に参加していただいている方を中心にご案内をさせていただき、高田会館ホールいっぱいご来場いただきました。



金谷俊一郎講演会

七月三十日～三十一日

歴史まるごと体験塾

今年で十七回目となる  
小学校五・六年生対象の  
合宿が開催されました。

昔の暮らしを体験して  
みようというコンセプト  
ながら、今年は冷房のな  
い昔ながらの食堂で泊  
まってみようという酷暑  
には辛いプログラムでは  
なくクーラーのきいた高  
田会館での宿泊になっ  
てしまったのは残念です。  
広い御影堂を掃除した  
りと、本山や寺内町での  
昔ながらの生活を体験し  
ていました。



歴史まるごと体験塾

七月三十日

布教伝道研修講座

よりよい布教伝道のた  
めに教学院が開催してい  
る講座ですが、一般の方  
にもご参加いただける講  
座になっています。

日頃のお説教とは一味  
違う仏法を味わうご縁と  
なっています。

八月一日～五日

第93回仏教文化講座

今年も連日百人ほどの  
参加者で高田会館ホール  
が満席になる日もありま  
した。

初日の法主殿御親教で  
は、本山にも写本がある



布教伝道研修講座

永観の書かれた『往生講  
式』についてふれられ報  
恩講式につながるお念仏  
の系譜についてお話され  
ました。

二日目はNHKテレビ  
でもお馴染みの佐々木閑  
先生にブツダの教えを現  
代社会でどう味わってい  
くかというお話をいただ  
きました。

三日目は井上尚実先生  
から親鸞聖人の現生正定  
聚のもつ意義についてお  
話いただきました。

四日目は藤田正勝先生  
から哲学者の西田幾太郎  
さんの思想を通じて仏教



仏教文化講座

への理解を深めました。

最終日は高田学苑で教  
鞭をとられる藤田正知先  
生に仏教教育の中での宗  
教の実践的あり方をお  
聴きし、五日間の幕を閉  
じました。

今年は全日程を通して  
の聴講者が三十七名あり  
最後に表彰され記念品が  
授与されました。

八月十八日

現代と仏法を考える集い

教学院の主催で「医療  
と仏法」というテーマで  
現役の医師でもある岸上  
仁師に講演いただきました。



現代と仏法を考える集い

WEB VERSION

WEB VERSION

# 「舍利弗」

釈尊シリーズ ⑩

古来より「十大弟子」

と親しまれ、数多の弟子

の中でもとりわけ釈尊の  
信頼が篤かった方々の  
筆頭に、舍利弗という、  
僧伽の年長者であり、ま  
た勝れた智徳を讃えられ  
て「智慧第一」、「長老」  
と称された方がいらっ  
しゃいました。

バラモンの家に生まれ  
た舍利弗は、親友の目連  
と祭見物に行った折、祭  
に興じる人々を見ながら  
「百年後には誰もこの世  
にいないのであろう。」  
と無常を感じて出家を志  
し、六師外道のサンジャ  
ヤに師事してすぐにそ  
の真髓を体得しました  
が、心からの満足は得ら  
れず、二人は本当の師を

求め続ける日々を送りま  
す。

そんなある時、舍利弗  
は王舎城の街で托鉢す  
るひとりの比丘（修行  
僧）の厳かな姿に心を打  
たれ、托鉢が終わるのを  
待って「貴方の師とその  
御教えを、どうか教えて  
ください。」と尋ねまし  
た。アツサジ（初転法輪

五比丘の一人）と名のら  
れた修行僧は「私の師は  
釈尊です。しかし比丘と  
なって日も浅く、詳しく  
その御教えを説くことは  
できませんが。」とこと  
わった上で「あらゆるも  
のは、因縁に従って生  
じ、因縁に従って滅す。」  
という、縁起の法を顕わ  
されました。これを聞い

た舍利弗はよろこび絶え  
ず、直ちに真理を見る清  
らかな眼をひらき、急ぎ  
帰って目連にも伝え、彼  
らを慕う二百五十人のサ  
ンジャヤの弟子達と共  
に、釈尊のもとへ走った  
のでした。舍利弗はほど  
なくして阿羅漢に達し、  
時には釈尊に代わって法  
を説かれるなど僧伽の中  
心となり、經典に数多く  
お出ましになります。

このように生涯、説法  
を最前で聴かれた舍利弗  
ですが、われらに親しい  
のは『佛説阿彌陀經』で  
の「舍利弗」でありまし  
う。この經典は他のよう

に問う者が存在せず、釈  
尊がみずからすすんで説  
かれた、佛の本意の教説  
が示されていますが、こ  
こで釈尊より三十数回も  
「舍利弗よ。」とよびかけ  
られ、時に「舍利弗よ、  
どう考えるか。」と問わ  
れる中で、舍利弗は黙々  
と聴き続けるのみです。  
それは「智慧第一」と誰  
もが仰ぐ長老が、ただひ  
たすらに聴聞されるこの  
姿を通して、釈尊の仰せ  
られる如来様の御本願が  
どれほど人間の理解を超  
えたものであるか、身を  
もって顕わしてください  
ているのです。

（教学院第三部会）

## 舍利弗



（教学院第三部会）

WEB VERSION

WEB VERSION

タイトルの言葉に我が身が問われた時、私はどんな答えならば満足するのでしょうか。

大切な方との別れは辛く、甚だ痛ましく。「まだまだ一緒にいたかった。」

と思う私には、【死んだら終わり】ではさみしいのです。あなたを慕えばこそ、死後を妄想し、会いたいと強く祈る事でしょう。しかし反対に、私が憎む者の場合には、「またアツチで遭ったら堪らない。」

と、今度は【死んだら終わり】でなければ困るのです。

このように、死んだら終わりでも、終わりでなくとも、勝手な私が本当に満足する事はありません。この

《有るのか、無いのか》、《損か、得か》の物差しに縛られ続ける限り、私は苦しみ続けるのです。

また私は、お念仏を称える中で『命終わるさびさみに 浄土に往生するなり。』と親しんで参りました。このように聞きますと「そうか死後は有るのだな。お浄土は有るのだな。」と、反

射的に「わかったつもり」に安住しようとはしますが、これは私の都合に合う幻想に過ぎません。

御開山聖人はお浄土を「無量光明土」と讃えられました。

これは、【有無・損得】に縛られ、苦しむ私を救う限りない光の世界であるという面白いであり、ここに生まれるとは即ち、諸々の佛となって私を照らし救うおはたらきとなされる事を願します。お浄土で諸佛となつたあなたは、この私のもとに還って、私ただ一人の為に、お念仏を称えよ、み教えを聴けと、休みなくお勧めくださるのです。

「死んだら終わりか」など分かりません。分かる必要ありません。この私に於いては、お浄土にご往生なされた諸佛あなたのおかげさまでお念佛を賜ったのだとうなずかされつつ、お返ししようもないそのご恩の深さに、うなだれるだけなのです。

# リレー法話 死んだら 終わりですか？

三重18組 四日市市  
立法寺住職  
岡知道

## 第四十九回お七夜献書展

### 課題

幼稚園 かね

小学校1年 えん

小学校2年 十字

小学校3年 太子

小学校4年 大悲心

小学校5年 真实信心

小学校6年 念仏往生

中学校1年 名号不思議

中学校2年 南無阿弥陀仏

中学校3年 泥中生仏正覚華

高校・一般

ア 一切諸菩薩 各齋天妙華

宝香無飾衣 供養無量覚

イ 仏智うたがうつみふかし

この心おもいしるならば

くゆるころをむねとして

仏智の不思議をたのむべし

※高校・一般課題使用の漢字は『真宗高田派聖典』によりま

す

詳しくは宗務院教学部まで

お尋ねください。



親鸞聖人ご旧跡を訪ねて

第13回 越中の足跡



親鸞聖人流罪の足跡を正確にたどることはなかなか難しいものです。石川県から富山県へは普通に俱利伽羅峠を通られたのかと思つたのですが、更に北にある白ヶ峰往来を通られたという話もあります。

その後、射水市の六渡寺や小渡りを経て富山市内を抜けていくようなルートのようにです。そんな中から今回もご紹介するのは植物にまつわる場所です。常願寺川沿いにある腰掛け松は渡し船を待つ間に腰を下されたとされ、この時「古しきかな 松の根もとに 腰かけて みだたのむ身こそ うれしけれ」と詠じられたと云われています。のちの常願寺川の大水の影響で二箇所はその足跡が残されています。

また、黒部市の辻徳法寺にある柿の木は、町の四つ辻の石に腰掛けて休まっていたところ、そこに住んでいた夫婦が地元の名物くし柿を差し上げます。その種を囲炉裏に入れて黒焦げになったものを庭に埋めさせ説法をし、そこから三株の柿が生えたそうです。「女人往生の証拠の三本柿」といわれていました。辻徳法寺は黒部駅から徒歩三分程度ですが、腰掛け松はどちらも水橋駅からそれぞれ徒歩三十分ほどかかります。

(山川 蓮生)

●行事案内

九月二十日～二十六日

讚佛会

九月二十日

三重県仏教保育合同参拝

十月一日～三日

資堂講法会

十月二十三日

第69回檀信徒研修会

十月二十五日～二十七日

定専上人六百五十年忌

堯真上人四百年忌

十月二十八日～二十九日

第38回坊守・婦人会合同研修会

十月三十一日

教学院研究発表大会

十一月三日～四日

納骨堂法会

十一月五日～十日

秋法会

十二月八日～十日

中興上人御正當

寺院名

清掃奉仕ありがとうございます

ございます

(敬称略・奉仕日順)

六月 ふれあい長寿会

本楽寺・善導寺・甚国寺・

金剛寺・明照寺・近江卜

ラベル

七月 法性寺・光輪寺・

高田婦人会

八月 酷暑のためお休みです

本山の清掃奉仕で汗を流しませんか。お申し込み、お問い合わせは宗務院庶務部までお願いします。



三重県津市一身田町  
2819  
真宗高田派本山専修寺